

ゼロ災Challenge！2017の取組

SWS西日本株式会社 宇ノ気工場

ご安全に！

1. 本日の報告内容

会社概要

沿 革

宇ノ気工場紹介

事業紹介

主要納入先と生産車種

宇ノ気工場安全活動組織

宇ノ気工場17年度活動計画

「ゼロ災Challenge!2017」取組内容

その他の安全活動

「ゼロ災Challenge!2017」まとめ

今後の労働災害ゼロに向けての取組

会社概要

| | |
|---------|--------------------------------------|
| 会社名 | SWS西日本株式会社 (SWS West Japan, Ltd.) |
| 代表取締役社長 | 石井 均 |
| 所在地 | 三重県松阪市大塚町25番地2 |
| 資本金 | 3億9千万円 |
| 株主 | 住友電装株式会社 |
| 主な事業内容 | ワイヤーハーネスの製造・加工及び販売 |

沿革

| | |
|----------|------------------------|
| 1969年 3月 | 東洋ハーネス株式会社設立 |
| 1973年 6月 | 北陸ハーネス株式会社設立 |
| 1990年11月 | 九州住電装株式会社設立 |
| 2006年 4月 | 新宮電装株式会社設立(東洋ハーネスから分社) |

2010年10月 4社を統合し

『SWS西日本株式会社』を設立

住友電工・住友電装
グループの
(国内)製造拠点

宇ノ気工場紹介

【第二事業部】

田鶴浜工場(石川県七尾市)

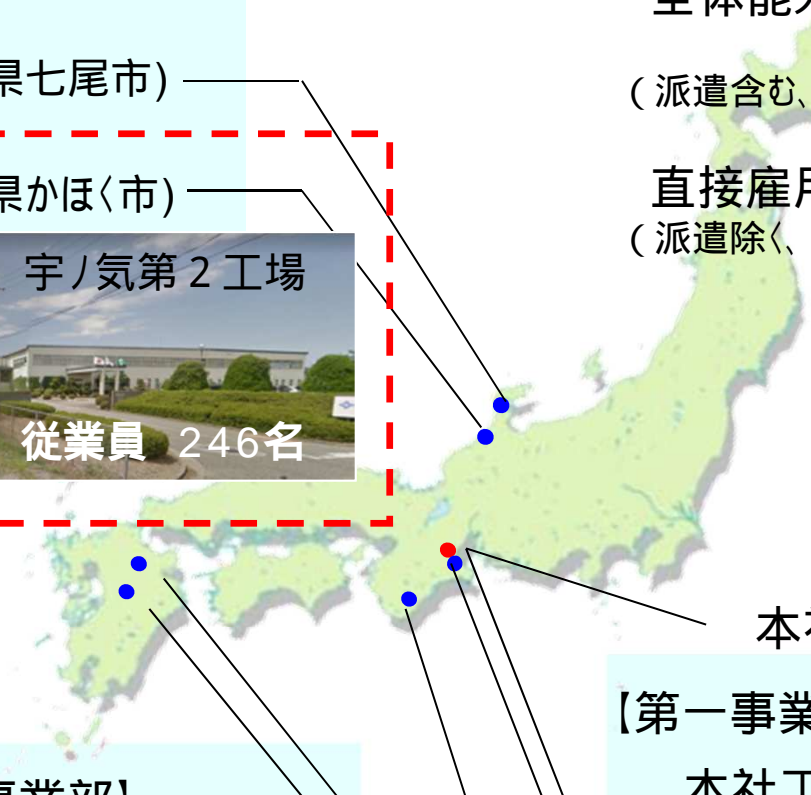
宇ノ気工場 (石川県かほく市)



全社従業員数

全体能力人員 1,889人
(2017年4月30日現在)
(派遣含む、グループ会社への出向者除く)

直接雇用人員 1,685人
(派遣除く、グループ会社への出向者含む)



本社(三重県松阪市)

【第一事業部】

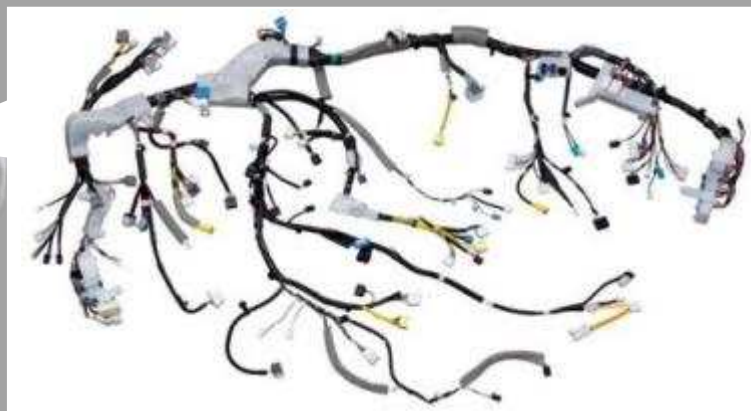
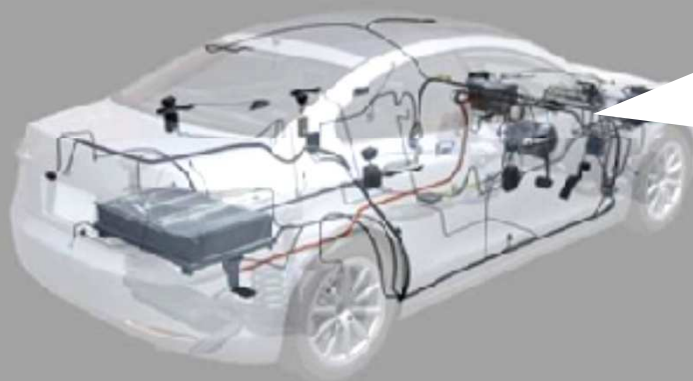
本社工場(三重県松阪市)
松阪工場(三重県松阪市)
新宮工場(和歌山県新宮市)

【第三事業部】

大分工場(大分県日田市)
熊本工場(熊本県菊池市)

事業紹介：ワイヤーハーネスの搭載イメージ

【自動車用ワイヤーハーネス】



ハーネス総電線長

2,000m～3,000m

ハーネス総重量

20kg～30kg

ハーネス総回路数

2,000本～2,500本

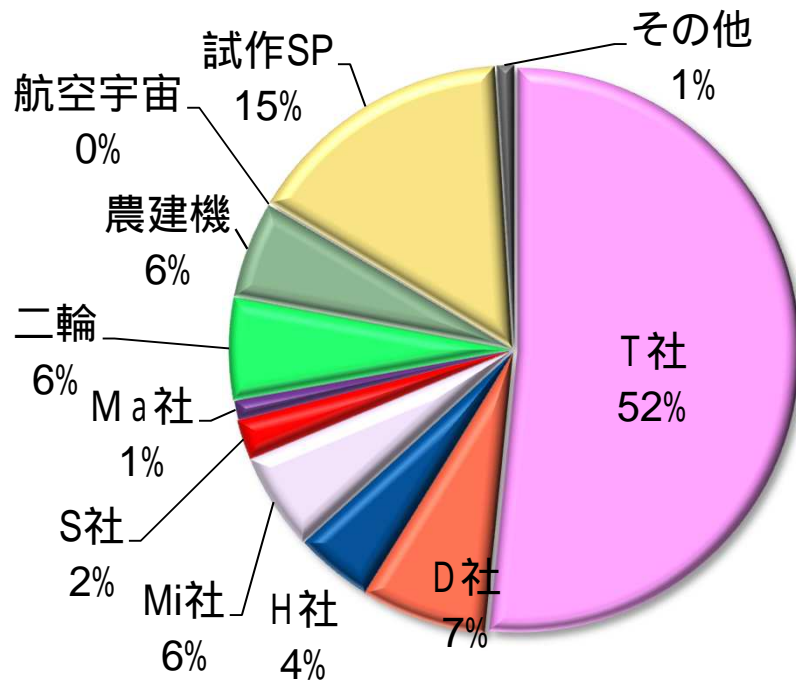
車輻に組み付けられる電気配線システム
車内の電力・信号を伝送

人間でいう
血管・神経の役割

ハーネス (Harness) : 馬車の引き具「馬具」

主要納入先と生産車種

【全社】



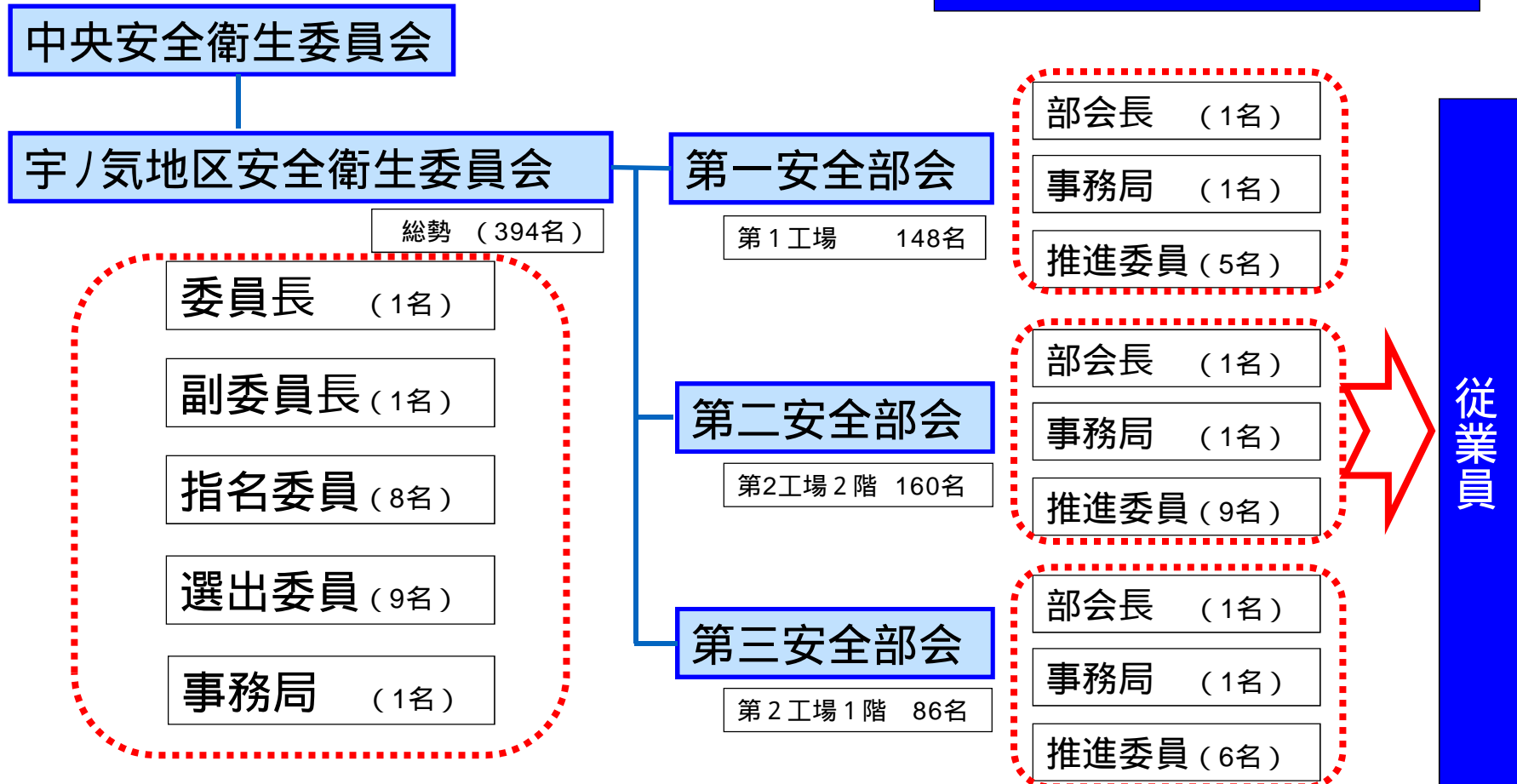
* 17年度計画生産構成比

【第二事業部】

- T社 乗用車、HEV車
- D社 軽自動車
- S社 軽自動車
- 農建機 トラクタ、コンバイン
- その他 Mi社向けA/B

宇ノ気工場安全活動組織

従業員全員参加型活動



宇ノ気工場17年度活動計画

17年度安全衛生基本理念

<安全> 安全は全てに優先する

<衛生> 社員一人ひとりの健康は活気ある企業の源である

目標 <労働災害ゼロ> <交通災害ゼロ>

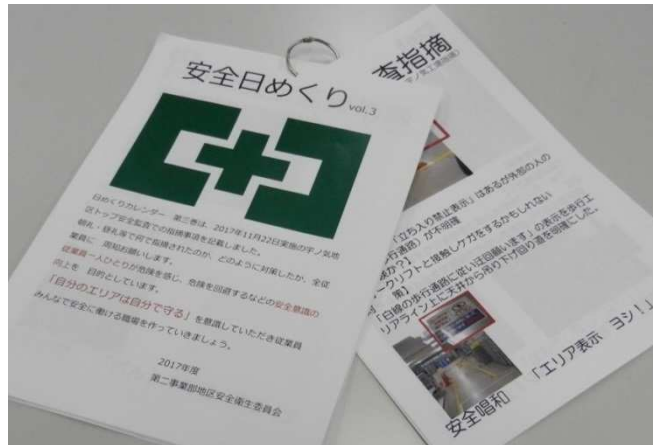
赤字はゼロ災challenge！2017追加項目

| 項目 | 17年度活動計画 | 17年度活動内容 |
|------|----------------|-------------------------------------|
| 安全管理 | 職場の5S活動 | 作業者による日常管理点検（安全5Sチェック） 日めくりカレンダー |
| | 1.4m化活動 | 1.4m化の推進及びしゃがみこみ禁止活動、腰痛予防対策 |
| 衛生管理 | 健康診断結果有所見者フォロー | 有所見者の二次検診100%受診、特定保健指導 |
| | 健康まつり | 金沢病院とかほく市との連携による従業員の意識向上 |
| | 受動喫煙対策 | 喫煙マナー推進チームによる受動喫煙防止活動 |
| 交通安全 | 全従業員による街頭指導の実施 | 年間を通じて全従業員実施 （プラカードによる街頭指導） |
| | ヒヤリハット募集 | 交通マップの作成と掲示 |
| 危機管理 | 防災訓練 | 1回/年実施 |
| | 図上訓練（BCP） | 2回/年実施 |
| | 救命講習 | 4回/年実施 |

「ゼロ災Challenge!2017」取組内容

1. 日めくりカレンダー作成し朝礼等で安全唱和 **従業員全員参加型活動**

目的： 安全監査の指摘事項 同じ指摘を繰り返さないため、また他工場への水平展開を図る
なぜ指摘されたのか、何が危険なのか、どんな対策をしたのかを全員が考え感性を高める



ラジオ体操後の朝礼で、安全唱和、
「今日も一日ご安全に！」「0 災で行こう ヨシ！」で
一日の仕事をスタートします。



「ゼロ災Challenge!2017」取組内容

2. ゼロ災Challenge!2017の活動内容を安全の掲示板に掲示し、さらに安全衛生委員会、各安全部会で声掛けを行い従業員に周知

(様式 1)

ゼロ災 Challenge! 2017 参加申込書

「ゼロ災 Challenge! 2017」に、下記のとおり参加を申し込みます（ゼロ災宣言書（写）添付）。

| | | | |
|---|---|--|-------------------------------|
| ① 事業場名* (工事名) | SWS 西日本株式会社 宇ノ気工場 () | 受付番号*1 | 申込日 平成 29 年 9 月 25 日 |
| ② 所在地 (達成証等送付先) | 石川県かほく市宇気 1 丁目 12-80 () | 労働者数 | 男 192 名 女 208 名 計 400 名 |
| ③ 代表者職氏名 担当者職氏名 (電話番号) | 工場長 山田 春一 (印) 能田 小百合 (076-283-6811) | ④ 業 種 | 製造業 |
| ⑤ 期間中の取組予定 又は 意気込み (自由記載) | 1. しゃがみこみ禁止活動の実施 腰痛予防のための活動を推進 2. ゼロ災 challenge! 2017 活動の周知 ポスターの掲示・定期的な職場巡視を実施 3. 事故防止のための道路の再点検と改善 4. ラジオ体操の実施と職場巡視の強化 5. 生活習慣の改善による生活習慣病の予防対策 金沢病院健康管理センター保健士による健康指導の実施 | | |
| 「ゼロ災 Challenge 2017」参加に関し、上記①～⑤の情報を石川労働局ホームページに掲載することについて | | <input checked="" type="radio"/> 承諾する <input type="radio"/> 承諾しない <input type="radio"/> ⑤のみ承諾する (◎で囲ってください) | |

*1 職員記入欄
*2 建設工事現場単位での参加の場合は、元請事業場名を記載

受理印欄

(様式 2)

ゼロ災Challenge! 2017
ゼロ災宣言

私達は、「ゼロ災Challenge2017」に参加し、労使協力して労働災害防止のための取組みを行い、期間中の労働災害ゼロを達成します。

取組期間 平成 29 年 10 月 1 日～12 月 31 日

平成 29 年 9 月 25 日

事業場代表者職氏名 山田 春一

事業場労働者代表氏名 福元 雄二

「ゼロ災Challenge!2017」取組内容

3. 生活習慣の改善

特定保健指導の実施

生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果を高く期待できる40才以上の方に対して生活習慣を見直すサポートを行う。

保健師による健康指導を実施

具体的にどんなことをするか？

- * 自身の健康状態を知り、将来どのように影響するのか理解する
- * 生活習慣の問題点を考える（日々の食生活や運動）
- * 半年間取り組む内容と目標を設定（体重 %減など）

| 2017年度 | 対象者 | 受診者 | 比率(%) |
|-----------|------|------|-------|
| 定期健康診断対象者 | 327名 | 327名 | 100% |
| 有所見者 | 72名 | | |
| 二次検診受診 | 72名 | 72名 | 100% |
| 特定保健指導対象者 | 31名 | 31名 | 継続中 |

金沢病院が72名のうち31名を生活習慣病の可能性が高いと判定。委員会で全員に受診するように個別指導。現在、指導継続中。

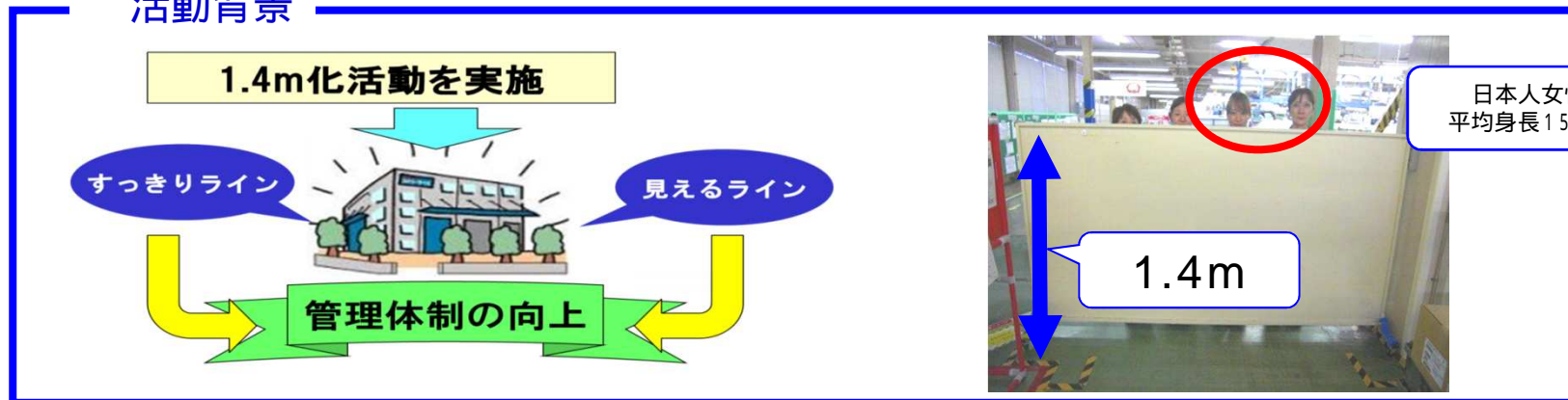
「ゼロ災Challenge!2017」取組内容

4. 腰痛予防のための活動（しゃがみこみ禁止活動）

1.4m化活動に新たに「しゃがみこみ禁止活動」を追加

1.4m化活動とは、'13年4月～活動開始、職場全体の視野を確保（見える化推進）することにより**不安全行動や不安全状態等潜在する危険源の低減を図り、災害ゼロ**につなげる。

活動背景



改善例



設備や棚、掲示板等の高さを原則
1.4m以下にし見える化を図る

「ゼロ災Challenge!2017」取組内容

4. 腰痛予防のための活動（しゃがみこみ禁止活動）

1.4m化活動：新たな追加項目

改善例 部品棚

改善前



改善後



改善例 掲示物



腰痛・転倒・頭部接触等のリスクがある
**掲示物（床から50cm以内）、部品棚
下段を使用しない活動**



その他の安全活動

OSHMS（労働安全衛生マネジメントシステム）について

当社は、2010年SWS方式 労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）の認証を取得しました。
(OSHMS = occupational safety & health management system の略)

OSHMSとは、安全衛生活動への組織的な取組ができる仕組みを作り、潜在的危険性を低減させるための手法（リスクアセスメント）を取り入れ、快適な作業管理、健康管理を行うため、トップから作業員まで日常の活動の一環として安全衛生活動に参加し、安全衛生水準を向上させるというものです。

リスクアセスメントの実施、ヒヤリハットの提出、KYT（危険予知活動）の実施、改善提案の提出など従業員全員の安全活動により、安全に働ける職場を作っています。

その他の安全活動

職場安全巡視体制

| | | |
|-------|---------|-------------------|
| 作業者 | 自工程 | 作業者による点検(あるべき姿遵守) |
| 管理監督者 | 安全衛生委員会 | 委員による巡視(1回/月) |
| | | 安全管理者による巡視(1回/月) |
| | | 衛生管理者による巡視(1回/週) |
| | 各部会 | 推進委員による巡視(1回/月) |
| | トップ(役員) | トップによる安全監査(1回/年) |

安全 5 Sチェックシート

5Sチェックシート (抜粋)

| 項目 | 確認 | 実況 | 改善 | 完了 | コメント |
|--------------------------------|-----------------------|----|----|----|------|
| 1 床は、拭き掃除が定期的に行われているか | <input type="radio"/> | ○ | ○ | ○ | |
| 2 キヤベネットの上のものが置かれていないか | <input type="radio"/> | ○ | ○ | ○ | |
| 3 配線はきれいに束ねられているか | <input type="radio"/> | ○ | ○ | ○ | |
| 4 床にゴミが落ちていないか、掃除していないか | <input type="radio"/> | ○ | ○ | ○ | |
| 5 床、遺物(ゴミ)が落ちていないか | <input type="radio"/> | ○ | ○ | ○ | |
| 6 作業者は服装が整っているか | <input type="radio"/> | ○ | ○ | ○ | |
| 7 器具のメンテナンスが適切に行われているか | <input type="radio"/> | ○ | ○ | ○ | |
| 8 PCのケーブルの整理がされているか | <input type="radio"/> | ○ | ○ | ○ | |
| 9 PCのディスプレイが適切な位置にあるか | <input type="radio"/> | ○ | ○ | ○ | |
| 10 PCの電源コードが適切に束ねられているか(ケーブルは) | <input type="radio"/> | ○ | ○ | ○ | |
| 11 PCの電源コードが適切に束ねられているか(ケーブルは) | <input type="radio"/> | ○ | ○ | ○ | |

検査者()の押印サイン *山本 隆司* / *山本 隆司*
 確認者()の押印サイン *山本 隆司* / *山本 隆司*



衛生管理者巡視記録

衛生管理者巡視記録 (抜粋)

| 項目 | 評価 | | | |
|-------------------------|----|-----|-----|----|
| | 合格 | 要改善 | 要監視 | 未検 |
| 1 作業者の服装(ヘルメット、作業服)は適切か | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 作業者の靴は安全靴か | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3 作業場の照明は適切か | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 4 作業場の換気は適切か | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5 作業場の騒音は適切か | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6 作業場の温度は適切か | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 7 作業場の湿度は適切か | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 8 作業場の作業時間(長時間労働)は適切か | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 9 作業場の作業強度は適切か | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 10 作業場の作業環境(騒音、振動)は適切か | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 11 作業場の作業環境(照明、換気)は適切か | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 12 作業場の作業環境(温度、湿度)は適切か | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 13 作業場の作業環境(酸素濃度)は適切か | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 14 作業場の作業環境(酸素濃度)は適切か | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 15 作業場の作業環境(酸素濃度)は適切か | ○ | ○ | ○ | ○ |

トップによる安全監査



その他の安全活動

転倒防止対策

通路の角対策

目的：通路の角を丸くすることにより転倒等のリスクを軽減



朝のラジオ体操

目的：朝のラジオ体操で転倒等のリスクを軽減



ポケテナシ運動

目的：ポケテナシを遵守することにより転倒災害を未然防止

STOP Accident Campaign

- ポ** ポケットに手を入れて歩かない
- ケ** 携帯電話をしながら歩かない
- テ** 階段昇降時は手摺を持つ
- ナ** ななめ横断しない
- シ** 横断時の左右確認 (指差呼称)

SWS Group

その他の安全活動

健康まつり

目的：自分の健康に関心を持ってもらい、健康に会社生活を送ってもらう。

金沢病院さんによる健康チェック

* 骨密度 * 血圧 * 体脂肪

* 乳がんモデル指導 * 物忘れプログラム

かほく市健康福祉課による出前講座

健康体操「ちよいトレ体操」

1日350gの野菜を食べよう

こころの病気を知ろう



1日必要な
野菜350gを
計ってみよう！



その他の安全活動

受動喫煙防止対策

喫煙マナー向上推進チーム発足：2017年9月

喫煙者は受動喫煙を理解し、喫煙マナーを守り
快適な職場環境づくりをすすめていく。

屋外喫煙室の設置は**18年度上期**に実施予定。
(4か所を3か所に減、屋内全面廃止)

活動内容

チームメンバーによる巡回
喫煙室の利用時間チェック
喫煙室使用マナー指導等
ポスターの掲示による意識
向上活動

吸う人も吸わない人も
受動喫煙のない
快適職場を推進しましょう

SWSでは 毎月22日(会社休日の場合は前日)を
「受動喫煙防止の日」とする活動を推進していきます

～2017年度～
毎月 22日

吸わない人への煙の影響のない快適職場推進の日

吸う人も吸わない人も喫煙による煙の害が防げる
快適に過ごせる職場を推進しましょう

宇ノ氣工場 喫煙マナー向上チーム

喫煙室使用について

- ①就業時間内の喫煙時間は、
概ね5分以内とする。
- ②就業時間内の利用頻度は、
午前・午後各1回のみとする。
(9:50～10:50, 14:50～15:50)
- ③利用時の換気扇稼働の徹底。
- ④消火の徹底

※就業時間 (8:30～12:00、13:30～17:15)

喫煙室から漏れた煙から受動喫煙となり
吸わない人の健康にも大きな影響を与えます。



- ・脳卒中
- ・肺がん
- ・心筋梗塞
- ・狭心症
- ・呼吸器疾患既往症の悪化 等

27学会禁煙推進学術ネットワーク「禁煙の日」を加工して作成
<http://www.kinenohi.jp/>

マナーを守り、吸う人も吸わない人も
みんなが快適に過ごせる空間を作りましょう！

宇ノ氣地区安全衛生委員会

その他の安全活動

交通安全活動

1. 交通ヒヤリマップ



七尾方面・金沢方面の危険箇所をマップに追加

2. プラカードによる街頭指導



全員参加により従業員一人一人の交通安全に対する意識向上を図る

その他の安全活動

危険のゼロ化活動（KKマッピング）

- 1. 「K」「K」とは

敢行性（**K**ankousei）

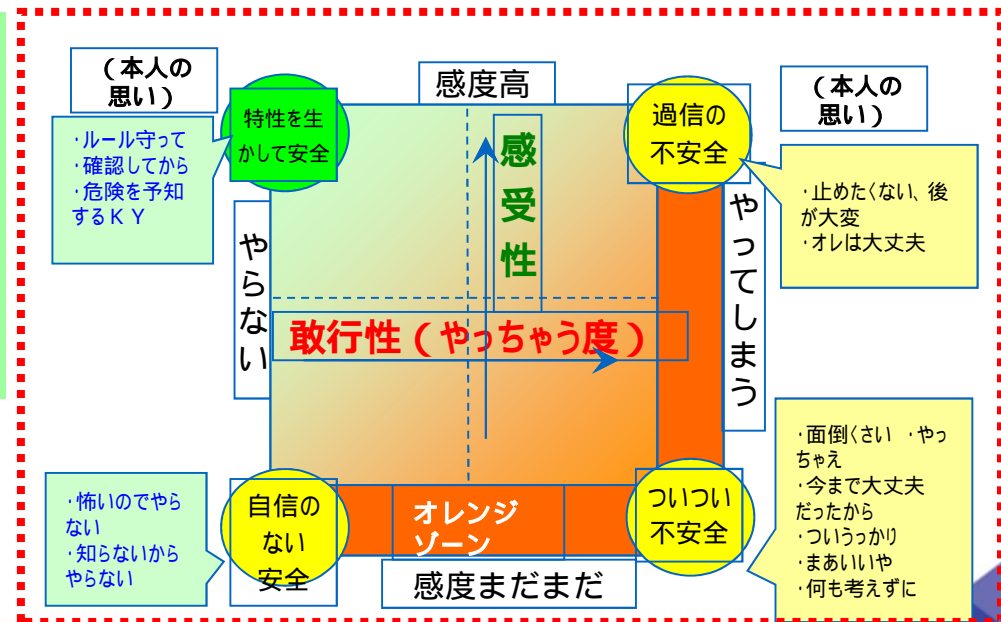
「危険」なこともやってしまう傾向（やっちゃう度）

感受性（**K**anjyusei）

設備・作業の安全に関する「知識」と「危険」かもしれないと思う力

- 2. 目的

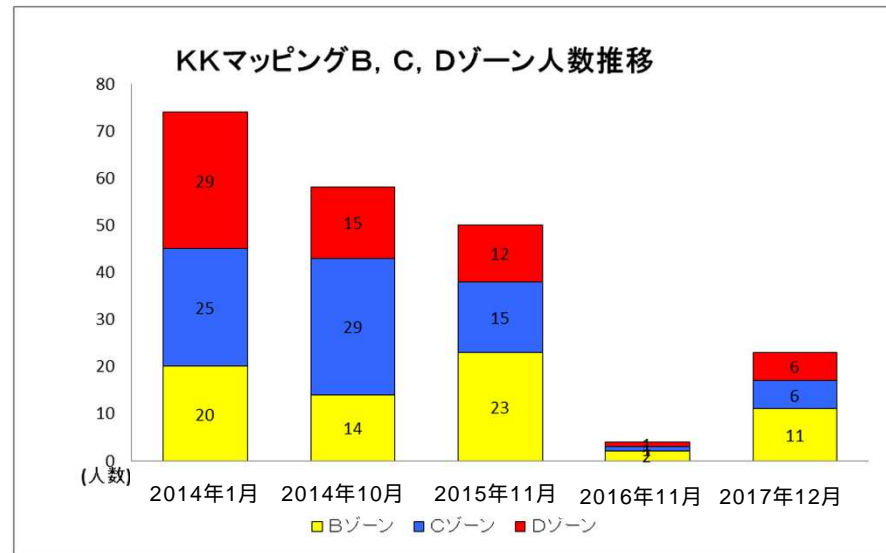
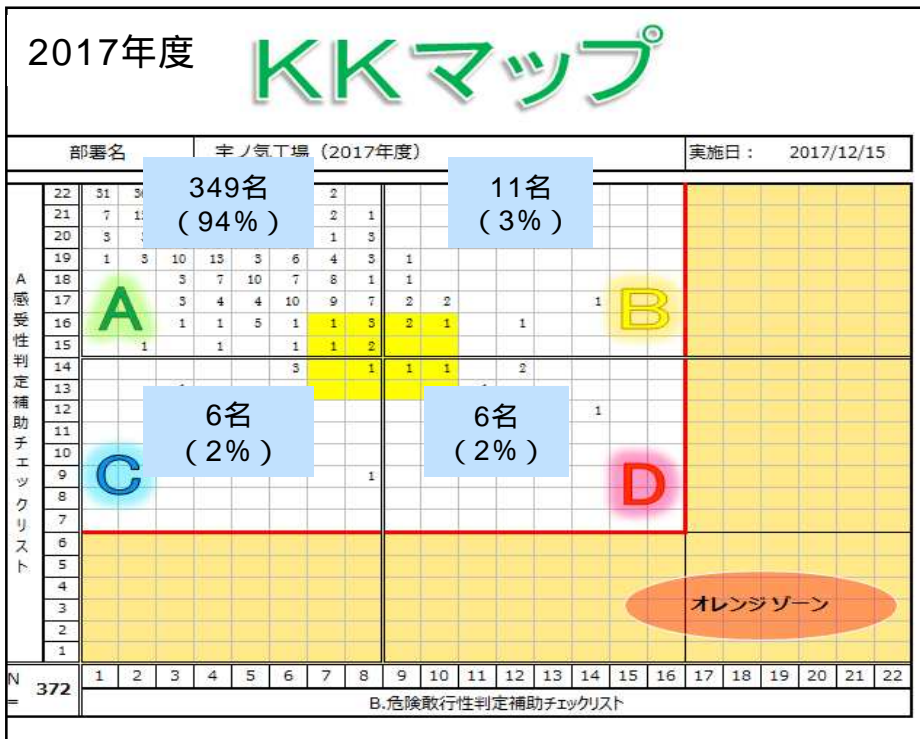
職場や工程ごとのKK度を把握し、安全活動を充実させる。
安全教育や訓練の効果・有効性を確認し、さらに向上させる。



その他の安全活動

危険のゼロ化活動（KKマッピング）

「危険感受性」と「危険敢行性」と行動面の安全の確保の関係を図示



B, C, Dゾーンの方個別に、日々の行動を観察し、どこに危険があるのか、どのように行動をすれば良いのかを対話形式で指導を行う。

不安全行動防止を進める！

「ゼロ災Challenge!2017」まとめ 今後の労働災害ゼロに向けての取組

今回、ゼロ災Challenge!2017に参加させていただき、安全衛生委員会、安全部会、各職場で、ゼロ災Challenge!2017の取組を周知し、いろいろな場面で声掛けを行ってきた。

ポケテナシ運動・安全日めくりカレンダー唱和・腰痛予防などの活動を通じて従業員の安全意識を高めることが出来た。

これからも「安全第一!」「ゼロ災で行こう!ヨシ」で労働災害ゼロを継続できるよう安全活動を進めていきたい。

ご安全に